

各位

公益社団法人 埼玉県理学療法士会
会長 南本 浩之
一般社団法人 埼玉県作業療法士会
会長 宇田 英幸
一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会
会長 田尻 恵美子

介護保険部研修会 『自立支援と介護予防ケアマネジメント応援研修会』のご案内

拝啓 時下、皆様におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、介護予防ケアマネジメントや自立支援を主軸にした研修会を、下記の通り開催致します。現在、各市町村で地域支援事業が進められる中で、自立支援の考え方に基づく、介護予防ケアマネジメントの普及が重要視されています。一方で、住民主体の一般介護予防と通所Cなどの短期集中介護予防、および医療や介護の様々なサービスの連携をコーディネートする自立支援型地域ケア会議や、認知症のある人への支援も、取り組みが進んでいます。これらについて、県・市町村でどのように進めているか、いくつかの実例を共有し、今後の進み方について一緒に考える機会としたいと思います。

今後の埼玉県や市町村における地域包括ケアシステム構築に向けた光明とすべく、ぜひ多くの専門職の方々にご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時：平成 30 年 3 月 22 日（木） 19：00～21：00 （受付 18:30～）

2. 会場：ウエスタ川越 活動室 1
埼玉県川越市新宿町 1-17-17

3. プログラム：

テーマ：『県や市による自立支援の取り組みから今後の進み方を考える』

報告者： 岡持 利亘

（埼玉県地域包括ケアシステムモデル事業 県アドバイザー 理学療法士）
平田 樹伸 氏

（埼玉県地域包括ケアシステムモデル事業 県アドバイザー 作業療法士）
吉田 幸治 氏

（小江戸川越ケアマネジャー協会 事務局 介護支援専門員）
佐々木洋平 氏

（川越市介護予防事業 養成講座講師・立ち上げ支援者 理学療法士）
中間 浩一 氏

（川越市 認知症初期集中支援チーム チーム員 作業療法士）

内 容：

- (1). 導入：県・市町村で、自立支援や介護予防ケアマネジメントに向けた取り組みは、どのように行われているか
- (2). 埼玉県の取り組みから：地域包括ケアシステムモデル事業
①自立促進モデル（自立支援型地域ケア会議）から

②介護予防モデル（住民主体の通いの場立ち上げ）から

(3). 川越市の取り組みから

- ①自立支援型地域ケア会議
- ②介護予防事業（いもっこ体操・ときも運動教室）
- ③認知症初期集中支援チーム

(4). 総合事業との関係、今後の進む路

4. 対象：埼玉県理学療法士会、埼玉県作業療法士会、埼玉県言語聴覚士会会員
小江戸川越ケアマネージャー協会会員

5. 定員 80 名（応募多数となる可能性があります。お早目にご応募下さい。）

6. 参加費用：無料

7. 参加申し込み：

1) 参加申し込み開始 **平成 30 年 3 月 9 日（金）から** *定員になり次第締切

2) 参加申し込み方法

パソコンまたはスマートフォン・携帯電話より以下のアドレスまた QR コードにてアクセスしてください。

⇒ <https://business.form-mailer.jp/fms/6433fe0e84234>

QR コード



【問い合わせ先】：埼玉県理学療法士会職能局介護保険部

E-mail : syokunou.kaigohoken@gmail.com

8. 会場アクセス



所在地

埼玉県川越市新宿町1-17-17

■ JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩約5分

■ 西武新宿線「本川越駅」より徒歩約15分

〈本川越駅よりバスをご利用の場合〉

● 西武バス乗り場 ①番

* 新所02、本55 系統「川越駅西口」下車 徒歩5分

* 本53、本54 系統「ウエスタ川越前」下車 すぐ

● 西武バス乗り場 ②番

* 川越35、川越35-1 系統「ウエスタ川越前」下車 すぐ



共催：埼玉県、公益社団法人埼玉県理学療法士会、一般社団法人埼玉県作業療法士会、
一般社団法人埼玉県言語聴覚士会、小江戸川越ケアマネージャー協会